

事務事業名		社会福祉大会開催事業				評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり				担当組織	担当部	こども福祉部	担当課	社会福祉課
	政策	3 助け合い生きがいを実感できるまちづくり				担当係	管理係	担当課長名	向田 紀之	
	施策	3 地域福祉の推進と生活保障の充実				新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 地域福祉活動の推進				実施計画事業・一般事業		実施計画事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名				
	3832	一般	3	1	1	社会福祉大会開催事業				
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	S56年度～ 年度		根拠法令 条例等	なし				
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		市単独事業			
	事業区分		任意的事業・義務的事業		任意的事業		任意的事業			
実施方法		直営		実施方法		直営				
事業分類		講座・教室・イベント等開催事業		事業分類		講座・教室・イベント等開催事業				
リーディングプロジェクト		該当なし		リーディングプロジェクト		該当なし				
市長マニフェスト		該当なし		市長マニフェスト		該当なし				

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
市民の福祉に対する理解と認識を深め、参加者が自ら地域での福祉活動へ参加することへの意欲を高める機会とする。 市、社協の共催で式典を開催する。	事業名	第10回社会福祉大会					
	開催日	平成27年1月22日(木)					
	会場	文化会館					
		・企画、資料作成、・表彰者推薦の依頼、・当日の準備・運営 など					
		・佐野市制10周年・佐野市社会福祉協議会設立10周年記念事業として実施した。					
*内容 第1部 式典 ①市長表彰②社協会長表彰(社会福祉に功労のあった人々を表彰し、感謝の意を表す)③大会宣言(地域福祉に対する積極的な取組みを誓う)④最優秀福祉作文(福祉作文の表彰及び朗読)(休憩) 第2部 講演会	活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	表彰者数	人	43	69	50	50	50
	参加者数	人	468	480	480	490	500

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

市民及び表彰者	対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	市民数	人	123,182	122,582	121,522		
	表彰者数	人	43	69	50	50	50

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

①福祉に関心をもってもらい、参加者が自ら地域での福祉活動へ参加することへの意欲を高める機会とする。 ②社会的弱者に対する差別を解消する。 ③誰もが住み慣れた地域において、安心していきいきと暮らす事のできる福祉社会の実現。	成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	地域で福祉活動をしている人の割合	%	12.5	11.9	17.2	17.8	18.0

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

福祉活動に参加する人が増え、地域福祉が推進される。	上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	社会福祉大会参加者数	人	468	480	480	490	500

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	100	107	117	120	120			
	事業費計(A)	千円	100	107	117	120	120			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			報償金	60	報償金	60	報償金	60	報償金	60
			報償物資費	24	報償物資費	40	報償物資費	38	報償物資費	38
消耗品費			16	消耗品費	7	消耗品費	19	消耗品費	22	
人件費	人	1	1	1	1	1				
のべ業務時間	時間	400	400	400	400	400				
人件費計(B)	千円	1,556	1,576	1,576	1,576	1,576				
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,656	1,683	1,693	1,696	1,696				

事務事業名	社会福祉大会開催事業	担当部	こども福祉部	担当課	社会福祉課	担当係	管理係
-------	------------	-----	--------	-----	-------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和56年度から、社会福祉に功労のあった人々を表彰し、感謝の意を表するとともに、福祉に対する理解を深めてもらう機会を設けるために始まった。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	少子化、高齢化が進み、市民のニーズも多種多様化し、福祉施策も細分化している。その一方で、「自助、共助、公助」の考え方の下で、地域住民が福祉課題に対して主体的に関わることが求められてきている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	なし

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案 社会福祉大会を開催することで福祉に関心をもってもらうことは、安心して暮らすことのできる福祉社会の実現に寄与することになり、福祉活動に参加する人が増え、地域福祉の推進に貢献するものである。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案 社会福祉の分野で活躍されている人々を表彰したり、市民の福祉に対する意識の向上を図ることは、福祉行政推進の上でも重要かつ必要な事項であるため。また、民間団体である社会福祉協議会と共催で実施しており、市が行うべきものを実施している。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案 この事業は、市民の福祉に対する理解と認識を深め、地域での福祉活動へ参加することへの意欲を高める機会とすることであり、対象と意図は合っている。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案 第1部は大会宣言、市長表彰、福祉作文表彰・朗読及び第2部は講演会であり成果向上余地はない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案 類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案 事業費は、表彰に係る消耗品と講師謝礼など最小限の経費であり、削減の余地はない。人件費は、担当者1人であり、これ以上削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求めない	理由・改善案 地域福祉に対する理解と認識を深めるために、市民の表彰や講演会を実施する事業であり、負担金を求める性格のものではない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)		
市民の福祉に対する理解が深まり地域福祉活動に参加するようになったとき。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			